

九州通信

～九州より全国へ

ハーモニーの風を起こしませんか～

Vol. 47 2018年1月 九州支局日より

セミナー&交流会 特別号



発行元：
株式会社エステーエスプロジェクト
九州支局
〒812-0007
福岡県福岡市博多区東比恵3-7-3
レシエンテ・ヴィラ東福岡1-1
TEL 092-292-8926
FAX 092-292-8927
ホームページアドレス
<http://www.stspro.com/>

～セミナー会場の様子～



平和を唱える、愛と絆の環境運動

後世の生命のために、今こそ
STSプロジェクトが動く時代へ
《2017年12月福岡セミナー&交流会レポート》

師走の慌ただしい中開催されたセミナーは、九州全国からお越しいただいた皆様により、大盛況となりました。内容を一部抜粋してご紹介します。

◆食が体を

不安定にする

最近では種子法の廃止が問題視される。昔は、少なくとも50年遡って種を掛け合わせ、20～30年安定した品種改良でないと日本の種子法には該当しなかった。しかし今、それも関係なく様々な新しい品

種が出てきている。40数億年の進化の歴史を無視し、人間が勝手に10～20年で改良したものは、必ず遺伝子に異物反応が発生する。我々の遺伝子の引き出しが30億ある中で、遺伝子組換ええたものは、我々が生きてきた歴史の中では経験がなく、全て

体を不安定に導く。

◆線量だけで

測れない被曝

原子力事故に見られるように、原子核にエネルギーを与えてβ崩壊すると、人間の科学では安定化できない。原子核のβ崩壊により、宇宙で最初にできる重水素からウランやプルトニウムなどの元素が瞬

間に宇宙に飛び回る。これらが高温プラズマ現象により気化して大気中を舞うと、即人間の体に吸収され、気化された元素による被曝が体に将棋倒しのように連動していく。急激に病気が増えた原因は環境汚染。今こそ生命の初期化の科学が求められる。

◆宇宙と連動する

生命化現象

海の塩分濃度は3～3.5%だが、海底深さ2～3kmにある真水の層は人と同じ約0.9%。生命の誕生は、真水の中で起きる。宇宙からタンパク質などの情報が干渉し、地下マグマによってスパークすると、RNA、続いてDNAができる。30～35の元素からなる真水の層は、pHは8～8.1、その条件下で人間は生まれる。真水のpH、元素の種類、水の6員環6分子構造、これらの条件を備えることで、生命の初期化現象が起きると考えた。精子と卵子がスパークして胎内で生命が発生

する時、最初にできるのは耳の細胞。膨大なビッグバンの音のエネルギーが実は、生命発生の音霊。宇宙は常に星の生と死を繰り返しており、その振動が時空、光速を超えて星々に降り注いでくる。それが耳の細胞に共鳴した時初めて、生命化現象を起こし、無が有になる。

◆宇宙の情報と

エネルギーの受け皿

体は35の元素できている。地球上には113、自然界には93ある。元素は固有の電位差を持ち、その電位差が35の元素で交流、自転公転する中で磁場やエネルギーを発生し、宇宙から情報とエネルギーが干渉してくる。私たちは35の元素を受け皿としたエネルギーコントロールによって生かされている。その原理をもとに、蘇生器は35の元素を含むセラミックスを入れて作っている。体内で電位差をコントロールするのが酵素。栄養学でいう酵素と、物理



学という酵素は根本的に異なる。35の元素に80～81の酵素を組み合わせると、地球上で5500の働きをする有機元素になる。

◆STSの

モノづくりの基本

生命とは、重力に対する反発の力。この時間と距離が3次元における生命の寿命である。酸化の環境下でどう還元を選んできくかが、寿命を決める。物質の安定、酸化から還元、腐敗から合成をSTSはモノづくりの基本にしている。

◆半導体塗料添加剤 に見るSTS科学

STS半導体塗料添加剤で壁を塗装すると、

そこに降る酸性雨が中庸の水になる。PMや化石燃料の影響によりpH3.9の雨が降るため、皆酸化の方向にある。強酸性雨によって土の中の乳酸菌、酵母菌が死滅する。そこで半導体をハウスに塗装し田に撒くと、土のpHが中性域にまで回復する。土中のバクテリアや微生物が一斉に繁殖し、環境に悪い物質は全部食べてくれる。微生物も食物連鎖の法則なのだ。

寒冷地はマイナス8〜10℃ほどになるが、半導体施工すると、朝夕、22〜23℃で1時間冷暖房して一日温度を保つ。燃焼エネルギーが壁や天井に当たり、跳ね返って振動、摩擦が起きる。二酸化炭素の温暖化という科学を生活の中で利用できるのだ。半導体の4元素を使うと、熱を電子に変換する。これで都会のビルを塗ると、ビル風が森林浴のようになる。家の中の臭いも消える。臭いも、暑い寒いも、痛みも全部電子が伝える電子信号である。

電位差と磁力線で、電子を自由に誘導できる科学こそ、STSのテクノロジーである。

◆環境運動における愛と絆

世界を不幸にしているのは戦争。私たちは平和の中で、正しい科学、正しいテクノロジー、人間の生きる哲学を実践する必要がある。人は本来宇宙からエネルギーをいただき、個性豊かに、自分のために生命を全うするものだ。自分のためとは、何をしたいか、どのように人生を終えたいかである。それには家族が大事。環境蘇生運動で最優先するもの、また、人を幸せにするものは、人間の絆と愛。これを支える分母は、平和である。愛とは共存共生、相手を理解していくこと。絆は物を運動的に伝えていくさまを表す。相手の土俵に自分の位置を変え、互いに理解し合う本物の愛の心が必要。運動の中に絆を持ち、互いに深めていくことが大事である。

■九州支局 新装オープン！

この度1月に、九州支局は移転し、大変アクセスのよい市内博多区で新たな門出を迎えました！



室内は、空間に音が響き、声がよく通ります。暖房の効きがよく、足元まで温度が一定です。壁や天井、エアコン、換気扇、ガラスには、半導体塗料添加剤で2度塗装し、床はスチームクリーナーで何度も半導体をモップがけしていることから、電子が飛び交う心地よい空間を実現しています。



蘇生器は全国初Sky-725の連結設置となりました。質量が根本的に異なり、二乗の働きをするため、水の柔らかさ、電子量、情報伝達の速さなどの違いを体感できます。

また、新装オープン当日は40名ほど集い、新年交流の中、代表よりお話しがありました。

「生命を中心軸に考えて生きること、他がために行動するには、まず自分自身が健康でいることが大事、生きる姿勢を改めよう」との事。また、この蘇生運動に関わる皆さんやエステエスプロジェクトも世代交代して、後世に伝え引き継ぐ時が来ている。紹介者から周りの方に水を分けてもらう中で、絆や愛が生まれる。環境運動の中でそれに気づいて

ほしい。自由な形態の中で心と経済の豊かさを実現するのがSTS、ボランティアではないボランティア、この方向で今年邁進したい」

半田代表の言葉に、私達スタッフと会員の皆さん一丸となり、伝道師として今こそ世にSTSを発信していかねければと、固く誓う時間となりました。

※1月末まで来訪された方は、会員本人限定につき、1人1日専用ペットボトル2本まで、お水汲みができます。運動にご活用ください。新九州支局を、今後とも宜しくお願い致します。



<2018年1月~2月九州支局行事予定>

1/21(日)	【休日営業】代表交流会 ※13時半~16時
1/30(火)	学習会「STSにおける会員活動とは」
2/10(土)	【休日営業】代表交流会 ※13時半~16時

※ 支局行事開催時間 13時半~15時

<2018年3月~4月セミナー日程>

3/11(日)	秋田セミナー STS本社 2F
4/21(土)	佐賀セミナー 佐賀市文化会館 大ホール

※セミナー開催時間 13時半~16時



~クッピーちゃん達も元気！無事に引越が完了しました~

編集後記：この環境蘇生運動は、環境汚染のスピードに対し、一人では到底成し遂げることはできません。「位置は不定、運動は一定」皆が各々の立ち位置で同じく環境蘇生という目標に向かうことが必要です。まずは家族と健康のため、家庭でできる環境蘇生と貢献の形を、考えて行動しましょう。